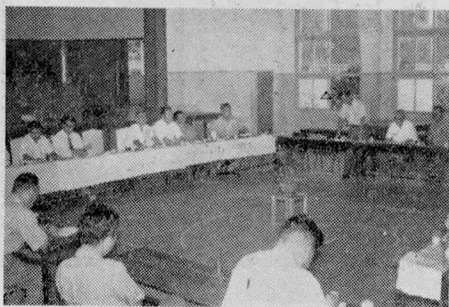


難航する高校統合問題

南大隅高等学校の統合問題は、昨年、県の方で同高校の大根占根占両校舎及び田代高校三校の統合案が出されたが、いろいろ経過があったあと、三校統合は白紙に返し、両校舎の統合という方針で今日に及んでいます。昨年、根占町で、県教委、郡内の県議会議員及び徳留文教衛生委員長、ならびに両町関係者が集まって協議されましたが、両町とも統合するという方針には賛成しなかったが、位置の問題で、両者の意見が対立、県の方で方針を決められるよう要望しましたが、未解決のまま、現在に至っています。

ことしに入ってから八月二十六日県教委総務課長一行来町、九月九日県教委有馬委員長ら現地視察、同日、県議会文教衛生委員会、平原委員長ほか十名現地視察と両町でそれぞれ協議会を開くなど、あわただしい動きがあり、また、両町とも、県、県教委、県議会方面にそれぞれ陳情運動を行い、いよいよ大詰めに近い感じがします。

根占町では、現在の根占校舎のところが、学校の伝統、地理のうえからも最適としてゆずらず、最近では大根占寄りの今市附近の水田でもよいとしており、わが大根占町としては、両校舎のほぼ中間にあたる山ノ口の水田地帯が、位置、交通の便、また教育の場として適しており、また、



統合される高校は、全く新しい角度から、新しい場所に、あくまで教育的立場から、南大隅の最高学府にふさわしい立派な学校を建設すべきであるとして、前記山ノ口地区を候補地として運動をやっています。PTA、同窓会、父兄にしても問題の早期解決をよく望んでおり、県、両町とも、高校急増対策事業として三十九年度統合を目標にして

解決につとめているので、いづれにしても、近く結論がでるものと思われれます。

わたしたち町民としても、希望している線で、早く解決するよう期待したいものです(写真上は、十日現地を視察する県議会文教衛生委員長一行)

○印平原委員長△印坂元町長下、大根占校舎で協議会、本町の意見をのべる坂元町長)

※ ※ ※

今回の年金額の引上げなどにより福祉年金の内容も一段と充実されましたが、また、きよ出制年金にも、国の経済の成長、国民の生活水準の向上などを考慮して、昭和41年度には、年金額等の改善がなされる予定であり、いつそう有利な年金制度となることが予想されます。

現在、きよ出制年金の加入者で保険料を納められるのに、納めなかつたり、納めたくても、納められない状態にありながら免除の手続きをおこたつたり、加入する資格があるのに加入の届出をしない人は、きよ出制年金はもちろんのこと、福祉年金ももらえないことになりますので、この機会に、加入している人は、保険料を納付するか、免除の手続きをとり、未加入者は、すぐ加入の手続きをしてあなたの老後をまもってくれる国民年金制度からとり残されることのないようにしたいものです。

7月16日から実施

この改正のうち、基本年金額の引き上げと、所得制限の緩和は、9月1日から、その他は、公布の日(7月16日)から実施されます。

福祉年金額を引上げ

国民年金法の一部改正

年令制限の緩和

いままで、母子福祉年金をもらえる人は、扶養している子どもや孫が義務教育修了前にあるものにかぎられていました。たとえ子どもや孫が両手両足がなく、社会にでも満足に働けないような状態にある場合でも同じでした。ところが、今度の改正では、このように重い病気やけがなどで満足なからだの状態にない人には20才になるまで母子、準母子福祉年金がもらえるよう制限年令を緩和しています。そしてさらに、その子どもや孫が20才になれば今度は自分の障害年金がもらえるということになるわけです。

所得制限の緩和

直接受給者にわたされる年金がふえたのに対し、また所得制限も緩和されています。それには受給権者が前年に15万円を越える所得があると、年金の支給が停止されることとなっているのを18万円に引き上げる。受給権者の生活を維持する扶養義務者が50万円(扶養親族5人の場合)を越える所得があると支給が停止されることとなっているのを60万円に引き上げる。このように、受給者にとっては大へん有利になったわけです。

福祉年金にくらべてふえた額に差があるのは、一般的にこれらの受給者の生活水準が、老令福祉年金の受給者にくらべて低く、しかも、受給者が生計の中心になっている割合がいちじるしく大きいので、その生活実態に応じて老令福祉年金より多くなったわけです。

議案大要

才四回 才五回

町議会から

第四回定例町議会が六月二十八日招集されましたが、そのあらましは次のとおりです

◎農業構造改善事業協議会設置条例の制定、役場課設置条例、報酬及び費用弁償条例、町有普通物使用料徴収条例の一部改正をそれぞれ原案どおり可決

◎皆倉上、下部落、大尾、仲川中原、各部落に対する警備台、削蹄施設用としてそれぞれ〇・二五立方メートルの杉間伐材を無償で払いさげる件を可決

◎一般会計、製茶事業特別会計の第一回追加更正予算を原案どおり可決

員中の教育委員に、黒瀬健郎氏を任命する件に同意

◎高校統合対策のため、議会に特別委員会を設置する件を議員提案により原案可決、なお、これに関連して「両校舎の統合によって、新しく

◇工事費七万円で住宅改築二〇・二五坪、解体三八・五坪(大小分を含む)で町内の矢崎組と契約

◎農委委員の任期切れによる議会で推せんする学識経験者として、坂元左武郎(町長)押領司国雄(議会経済委員長)を推せんすることを決めた。

福祉年金を増額

福祉年金が、つぎのとおり増額になりました。

名称	改正前 年額(月額)	改正後 年額(月額)
老令福祉年金	12000 (1000)	13200 (1100)
障害 "	18000 (1500)	21600 (1800)
母子 "	基本額 12000 (1000)	基本額 15600 (1300)
準母子 "	同上	同上

これは昭和34年の農村の物価からみて37年度は、11パーセントの上昇を示しているの、老令年金もその1割にあたる1200円をふやすことになったものです。また障害、母子、準母子福祉年金も3600円ふえています。これが老令福

ことしは町制実施三十周年になります。



下旬の農作業

※わせの水稲はそろそろ水をおとしてよいころになります。水稲は、穂が出てから30日ないし35日たつて水をおとすのがよいようです。湿田では、やや早めに水をおとした方がよいでしょう。

※甘しよは、今がいちばん実るときです。ナカシロタバなどが発生すると実入りがわるくなりますから十分気をつけるようにしましょう。

※サイロのつめこみ、をそろ

そろ始めましょう。

あいているサイロは、よくそうじして、いつでもサイロのつめこみができるようにしていることがたいせつです。

※ルービンの、まきつけをすすめましょう。種は10アール当たり10リットルぐらいが適当です。肥料は、たい肥を忘れず施こしておきましょう。

※おそまきの結球白菜のまきつけは、今がいちばんよいころです。品種は、50日白菜、60日白菜、野崎2号などがよいでしょう。

新しい農業委員さまる

会長に坂元町長

任期満了による農業委員会委員の選挙は、七月十五日行なわれ、開票の結果は次のとおりでした。なお、投票率は七一・四三%でした。

また、農協団体推せん委員として、大根占農協本釜清、神川農協宮園直矢、農業共済組合坂口不二郎の各氏が選任され、議事院議員の各氏が選任されました。新しい委員による初の農業委員会が八月三日開かれ、会長に坂元町長、会

農業構造改善事業協議会発足

会長に宮園直矢氏

さきに条例を制定した農業構造改善事業協議会の初会合は、九月十二日議事堂で行なわれ「構造改善事業推進対策

長代理に原田速雄氏、県農業会議員に坂元町長をそれぞれ互選し、こゝに新しい農業委員会の構成ができあがったわけ

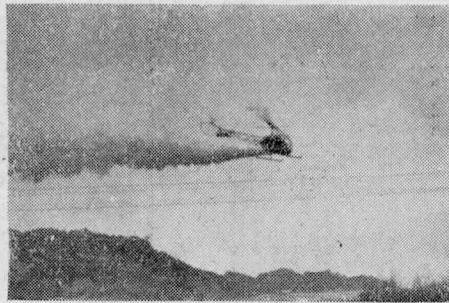
当選 落選 彦熊 三二六票 黒瀬 八男 三一四票 今熊 義則 三一三票 毛下 栄 三一三票 新原 鶴吉 三〇三票 厚ケ瀬 一男 二八二票 原田 速雄 二六六票 水流 森二 二二二票 山下 森三 二二四票 福岡 勇 一八二票 小園 辰矢 一五五票 野間 達夫 一三〇票

次点 野間 達夫 一三〇票

水田航空防除

はじめての水田航空防除は六月二十五日、大根占水田全域一六五ヘクタールに実施されました。実施前、十五ヶ所の調査で一八九匹のツマグロヨコバイがいましたが実施後の調査では二匹しか残っており、ほとんど完全に近い効果をあげました。

なお、薬剤はマラソン粉剤一〇アール当り三キロ、全部



同青壮年部 寺田 藤彦 同婦人部 前田 ハナ 同青壮年部 宮園 直矢 同婦人部 小園 辰矢 同婦人部 飯屋 ちえ 同婦人部 坂口 不二郎 同婦人部 吉山 藤巳

笹原 馬込 一三 農家代表 福岡 晴男 城之下道夫 白井 正吉 厚ケ瀬 平 永田 清彦 根占地区農業改良普及所長 宮園 善右衛門 大根占地区農業改良普及事務所長 浜田 登

※御用心? 最近福岡市新雁林町二七一「経営研究会九州支部」(税務調査会ともいっている)の職員、吉永秀一ほか四名(いづれも二五才前後)が、会費月に二五〇円年額三〇〇〇円をとって同会(目的は税対策などの講習会開催)に入会をすすめているが、勧誘のやり方がいかにも国税局や税務署が後援しているような印象をあ

よう。明けて三月が定植期です。苗木の注文は早目に両農協へ。

郡の家畜共進会 二十七、二十八両日、鹿屋家畜市場で行なわれます。

農業協同組合 備えあればうれいなし 〓 あなたの家に火災保険を自分のうちから火を出さなくても、火事は一番こわいもの一つです。 〓 掛金が安く、支払いの早い共済組合の火災保険をどうぞ保険金額 掛金 一〇万円 二〇〇円 三〇万円 六〇〇円 五〇万円 一〇〇〇円

※家畜共済に入っていない人はいませんか 家畜を買ったら、家畜共済にすぐ加入しましょう。

共済金額 掛金 牛 三万円 一〇五九円 馬 五万円 一七九二円 四万円 二四八二円 五万円 三二六五円

農業共済組合

林業改良開設

七月一日付で、県林務部の機構が一部改められ、今まで各町村に駐在していた「林業改良指導員」が集合配置されることとなり、南四ヶ町の事務所として、本町に「大根占地区林業改良普及事務所」が開設されました。

同所では、山の育てかた、林業経営など遠慮なく相談、利用して下さるよう望んでいます。

なお、現在配置されている職員は、次のとおりです。

主任指導員 浜田 登 指導員 手塚昭雄 根占町担当 前田義行 大根占町担当 大山義夫 田代町担当

また、事務所の位置は、別図改築後の庁舎配置図を、ごらんください。

〔板〕〔せ〕〔ら〕〔知〕〔お〕

自動車税(県税)の第二期の納期は十月末日です。忘れないうち、早目に鹿屋支店、郵便局、役場の税務課に、令書を添えて納めてください。

鹿屋財務事務所

期葉たばこ収納日程 十月 二日 毛下、半下石、鳥浜 三日 落河、上ノ宇部 四日 山添、大久保、宮脇 五日 川南、松坂、神川城 六日 笹原、神川上二 七日 馬場中原、宿利原 八日 瀬戸山、皆倉、寺崎 九日 段中野、才原、馬場 十日 二、厚ケ瀬 十一日 六反田、鳥浜二、厚ケ瀬 十二日 馬場一、中園、牧原 十三日 神川中、川北 十四日 白井、塩屋、安水 十五日

〔お〕〔知〕〔ら〕〔せ〕〔板〕

ポントンを植えよう 暖地だけでなく「ポントン」海岸ぞいの家では宅地内に植えておかれたらどうでし

ポントンを植えよう 暖地だけでなく「ポントン」海岸ぞいの家では宅地内に植えておかれたらどうでし